エンザイム・セミナー開かれる

生命の源の神秘を解き明かす熱の入った講習会

ホノルル・コミュニティ・アート・センターで

ロナルド・シュナイダー氏が講師

先月の初め、ハワイと日本の芸術家の交流に情熱を燃やしていて、多くのハワイの美術家を育てているホノルル・コミュニティ・アート・センターを主宰する江口泰臣氏から、身体に大変良い講習会があるので、伊東さんも仕事を離れて聴きににきませんかというお誘いがあった。寄る年波もあって人一倍健康には気を遣っている記者としては、興味津々で、早速出かけてみた。

ベレタニア通りにあるセンターの二階には、すでに二、三十人の聴衆が集まっていて、そこへ、恰幅のよい、見るからにエネルギッシュな講師ドナルド・シュナイダー氏が登場した。エンザイムがいかなるもので、いかに身体に重要なのかは別項で詳述するとして、その発想に共鳴した。

ハワイに存続するポリネシア文化の中には、人間の精神と自然、即ち、地、火、水及び風との深い結びつきがある。講師が主宰するエンリッチング・ギフト社はそもそも、この理念に触発されて誕生したというのである。

エンザイムの普及とには、外の商品を単に販売する企業とは異なり、深い哲学的裏打ちがあった。

宇宙は一つで、すべての人類の一人一人が、お互いに結びつき合っていて、この一つの宇宙に融合しているという。

エンザイム（酵素）

ヴィタミンとミネラルの発見以来

最も重要な栄養学上の発見

健康を増進し寿命を伸ばす秘密

個人主義が過度に浸透し、他人には一切無関心で、結局は孤独に悩まされている現代人にとって何という寂しの言葉だろう。

一人一人はすべて他人の延長であることが、いよいよ多くの人によって理解されてきたという。だから、我々が、他人のためにすることは、自分自身のためすることになるのだ。人種、国籍、信条を超えて、すべての人々はお互いに相互に結びついているのだという。

宇宙の神は、我々が好きなことができる自由意志を我々に与えてくれた。しかし、宇宙の法則は、各個の思想や行動には必ず、同等の反作用を与え、バランスを保っているのである。

この反作用とは何か。誰が他人に何をしようと、それは、結局は自分自身のためにすることになると言う意味である。

日本にも「情けは人のためならず」という古くからの諺がある。シュナイダー氏は講演に「先立って、この哲学を情熱的に説いた。

生命あるところにエンザイムあり

貴方はエンザイムによって生かされているのです。エンザイムは生きとし生けるもののエネルギーと生命力の源です。エンザイムなくしては、種は芽を吹きませんし、果物は熟しませんし、木々の葉は、紅葉しないのです。それよりも、エンザイムなくしては、貴方が存在しないのです。エンザイムは貴方の身体を流り、解毒作用を行い、身体を蘇してくれるのです。身体には食物を消化し、吸収する力が備わっています。エンザイムはこのような身体の中で毎日起こっている何万という生化学的作用を司っているのです。その中には、呼吸をすること、成長すること、臭いをかぎ、味を味わい、神経を刺激し、病気から身体を守り、ホルモンを調節し、身体の諸器官、各種の膜、組織を造り上げることなどがすべて含まれているのです。貴方がそういうことを考えることすらエンザイムと関係あるのです。

エンザイムはどこから摂るか

エンザイムには二つの源があります。一つは内生と呼ばれる我々の身体内部で作られるエンザイム、他は外生といわれ、我々の身体の外から接種されるものです。

こうして接種されるエンザイムは、基本的に三つの範疇に分かれます。

一つは、メタボリック・エンザイム（代謝酵素）と呼ばれるもので、血液、組織、器官内で働くものです。次がメタボリック・ダイジェスティヴ・エンザイム（代謝消化酵素）と呼ばれるもので、消化器官の働きを助けるもの。最後が生の食物にある食物エンザイムと言われるもので、これも消化を助けるものです。

エンザイムは、生きた有機物からだけ創り出されるものです。命がないところにほ、エンザイムはありません。

エンザイムとは何か

エンザイムはペプチド結合したアミノ酸の長い連鎖です。アミノ酸はタンパク質から派生したもので、エンザイムの決定的活動要素を担う役割を果たしています。重要なビタミンやミネラルから出来る補酵素と言われる物質があり、エンザイムが効果的に働くために欠かせないものとなっています。ビタミンは普通エンザイムの構成要素となっています。エンザイムはその中にある僅少な金属が充電され、金属どうしの吸引と反発が生まれます。

貴方の身体が電球だと思って下さい。エンザイムが電気でミネラルが導線でこれによって電気が伝えられるのです。各エンザイムは身体の中で働く非常に特殊な機能をもっています。この機能は、アミノ酸の配合とそのエンザイムが持つエネルギーの供給によって決まってきます。

神経系統が機能する様子は電気エネルギーが私たちの身体の中で、いかに重要な役割を果たしているかの良い例証となります。神経系統では電気エネルギーを神経的刺激を身体の一つの細胞から他の細胞に伝達するのに使います。筋肉の動き、腺からの分泌、体温の管理、そして思考すらも電気エネルギーに頼っているのです。この致命的に重要なエネルギーがエンザイムの生命力だと考えられています。そしてこれは決して人工的に再生できるものではありません。

エンザイムは、人間にとって欠かすことの出来ない新陳代謝を始動し、加速しそして終息させるのに触媒の働きをします。触媒とは、それ自身は何ら変化や消耗をせず、かつ他の化学反応を促進する物質を言います。特定のエンザイムは分子と結合していて、分子の合成、結合、分割及び再生などを司ります。例えば、あるエンザイムは、大きな栄養素を細かい分子に砕き、消化、吸収し易くします。外のエンザイムは、呼吸作用とか生殖機能とか視野、あるいはエネルギーの温存や放出といった身体の機能に関係しています。一つの反応が終わると、エンザイムはすぐさま次の反応に使えるように準備を整えています。

エンザイムは身体の現場作業員

エンザイムはコンクリートや木材等の資材を使って家を建てる建築作業員だと思って下さい。また、エンザイムを、破壊用ボールや破壊槌を使う取り壊しチームの一員だと思って下さい。エンザイムは身体の現場作業員なのです。妊娠、胎児の成長などと言った身体活動の一切にエンザイムは関連しているのです。ちょうど建設現場作業員が様々な材料を使って家を建築するように、エンザイムもタンパク質、炭水化物、脂肪といった我々が摂取した栄養素を利用して、身体という家を造り、修理し、清掃するのです。しかし、基礎がしっかりしてない家は長持ちしないように、エンザイムなくしては、基本的なビタミン、ミネラル、僅少物質その他の栄養素を利用することができないのです。ビタミンやミネラルが欠乏すると身体は壊滅的な損害を受けます。食べ物の中に含まれている栄養素の鍵が解かれ、吸収されない限り、栄養素は何の役にも立たないのです。代謝エンザイムは栄養素を血液、骨、歯、神経組織、各種器官および組織を造るのに欠かせない物質です。

年を取ることと病気になるということ

エンザイムの欠乏や身体のエンザイム製造能力が尽き果てることが年を取ることや、病気にかかることや、果ては死に至る原因なのです。「エンザイム・ニュートリション（エンザイム栄養学）」という書物を著したエドワード・ハウエル博士は、ある種のガン、アレルギー症、年を取る症状、皮膚疾患、肥満及び心臓疾患といった持病患者には、エンザイム欠乏症が普通に見受けられるとしています。研究者たちは、これまでに、人間や家畜の大部分の病気の基本的原因は、栄養素の欠乏からきていることを、疑いのない程度に確かだと証明してきています。だが、研究者たちは、ほとんどすべての病気はエンザイムの欠乏や欠陥エンザイムから来ていると確信しています。

組織内にエンザイム濃度が低い症状は、通常、高齢者に共通しています。それに反して高濃度のエンザイムは若者や健康状態の良い人々に見られます。しかし、生活状態や食習慣が良くないと、だれでも、何歳でもエンザイム欠乏症に襲われます。典型的に言えば、二〇歳の若者は七〇歳の高齢者の二倍のエンザイムを持っていると言えます。新生児は、高齢者の一〇〇倍のエンザイムを血液中にもっていると言われています。